



学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/honjuku>



令和4年9月29日
横浜市立本宿小学校

学校運営協議会スタート ～子どもは多くの人の間で育つ～

校長 松比良 聡夫

本宿中学校と本宿小学校は、今年度から合同で『学校運営協議会』を設置しました。国の制度として今年度中に設置することになっており、『よりよい学校教育を通して、よりよい社会をつくる』という目標を学校と保護者、地域が共有して、連携・協働して子どもたちを育てることがねらいです。『学校運営協議会』の委員は教育委員会の定める規則に従って両校の校長が選出し、教育委員会が委嘱しました。人数に制限があるため、地域代表の方々には、昨年度までの『学校づくり懇話会』で小中学校両方の委員をしていただいていた方々にお願いしました。委員の皆様をご紹介します。(敬称略)

◎佐々木 茂男 川島町西町内会長	小川 均 本村自治会長	倉本 隆 本宿小学校 PTA 会長
○鈴木 義隆 本宿東部自治会長	遠藤 章 旭中央連合町内会長	高橋 文江 地域コーディネーター
○内田 裕朗 旭南部連合自治会長	下川町内会長	坂元 みどり 放課後キッズチーフ
本宿西部自治会長	内田 眞 鶴友会長	中北 久美子 本宿中 部活動振興会長
大江 賢一 四季美台町内会長	久保田 勉 鶴ヶ峰南部町内会長	高橋 和夫 本宿中学校第6代校長
田中 伸明 四季美台親睦会長	佐藤 美枝 本宿中学校 PTA 会長	(両校の校長も委員に含みます)

(◎会長、○副会長) 委員の皆様、ありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

核家族化と言われて久しいですが、それ以前の日本では両親や祖父母、叔父叔母、多くの兄弟姉妹等と同居したり近所に住んだりして、大家族で生活していた方が多いと思います。地域のつながりも強く、近所のおじさんやおばさんと話したり、しかられたりすることは、当たり前であったのではないのでしょうか。何百年もの間、子どもは多くの人々の間で育つ中で、思いやりの心や社会性を身に付けてきたのだと思います。

それに対して現在は、人間関係が希薄になっていると言われていています。恥ずかしい話ですが、私の場合も人間関係が職場や少数の友人に限定されていると感じています。皆様はいかがでしょう。

多様性の時代、地域や学校、職場などのコミュニティでは、外国につながる方や障害のある方、LGBTsの方等々、自分とは異なる環境で育った方や異なる状況にある方、異なる価値観をもっている方々と共に生活しています。自分にとっての『常識』と、他の人の『常識』が異なることも、もはや驚くことではないでしょう。そんな社会で互いに理解し合うためには、子どもの頃からできるだけ多くの人々と接し、多くの価値観に触れていくことが大切だと思います。



学校では、学級・学年はもちろん、異学年交流、地域交流なども通して、様々な人々と協働して学んだり活動したりして、他者と触れ合う機会を多くしています。衝突したり、仲直りをしたりしながら、自己理解や他者理解を深め、自分らしさや社会性を身に付けていきます。

『みんなちがって、みんないい』を合言葉に、違いを認め合う寛容な心を育てていきたいと考えています。前述の学校運営協議会の委員の皆様にも、たくさんご意見をいただいたり、関わっていただいたりして、職員もより視野を広げ、学校運営の改善に努めていきたいと思っています。

保護者の皆様、地域の皆様、今後ともご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。